



円、上げに転じる 139円台前半 株安に歩調合わせる

7日午前の東京外国為替市場で円相場は上昇に転じた。10時10分ごろに一時1ドル=139円19銭近辺と前日17時時点に比べ11銭の円高・ドル安水準をつけた。上昇して始まった7日午前の日経平均株価が下げに転じ、下げ幅は一時500円を超えた。株安と歩調を合わせるように「低リスク通貨」とされる円の買いが優勢になった。

10時時点は1ドル=139円37～38銭と同7銭の円安・ドル高だった。10時前の中値決済に向けては「ドルの需給は不足気味だった」（国内銀行の為替担当者）との観測があった。もっとも国内輸入企業による円売り・ドル買いの一巡後は円の下値を探る動きが続かず、株安進行を受けた円買いに押された。

円は対ユーロでも上昇に転じた。10時時点では1ユーロ=149円12～14銭と、同13銭の円高・ユーロ安だった。対ドルでの円買いが円対ユーロ相場に波及した。ユーロは対ドルで下落している。10時時点では1ユーロ=1.0700～01ドルと同0.0014ドルのユーロ安・ドル高だった。



経済変動映す国際商品市場 銅金レシオが低下

世界経済の体温を示すとも言われる商品市場。原油や金など主要な商品の値動きをみると、米国や中国の経済減速への懸念から上値の重さが目立つ。需要の変調への警戒を強める企業の慎重な動きもみえ始めている。

米石油市場でちょっとした異変が起きている。米国は5月下旬のメモリアルデーの連休から、夏のドライブシーズンを迎えた。今年はガソリン需要が4月ごろから前年を上回っており、本来は石油会社が在庫を積み上げていく局面だ。だが、米エネルギー情報局（EIA）の週間統計では、ガソリン在庫は5月26日時点で2億1610万バレル。過去5年間のレンジの下限を下回る。

「高金利の経済環境が夏のガソリン需要に水を差すことを石油会社は懸念しているのではないか」。ストラテジック・エナジー・アンド・エコノミック・リサーチのマイケル・リンチ氏はこう語る。原油価格が高水準だった昨年に比べ石油会社の粗利益は縮小しており、過剰生産への警戒を強めている可能性もあるという。

米国では石油生産にも頭打ち感が出ている。ベーカー・ヒューズが集計する石油・天然ガスの掘削装置（リグ）の稼働数は2日時点で696基と、前の週に比べ15基減少した。石油リグは13カ月ぶりの低水準という。エバコアISIのエド・ハイマン氏は「商品価格の下落がインフレ率の低下と成長率の鈍化を示している」とその背景を説明する。

鋼材の原料となる鉄鉱石も4月ごろから徐々に値下がりしている。昨年秋ごろから需給調整が一巡して中国の経済活動の再開で上昇していたが、状況は一変した。ゴールドマン・サックスは今週、2023年の鉄鉱石需要の見通しを従来の2%増から横ばいに引き下げた。「中国の不動産市場の減速や世界的な製造業を取り巻く逆風のもとで、鋼材の需要環境には下押し圧力が増している」という。





世界経済の体温を示すとも言われる商品市場。原油や金など主要な商品の値動きをみると、米国や中国の経済減速への懸念から上値の重さが目立つ。需要の変調への警戒を強める企業の慎重な動きもみえ始めている。

米石油市場でちょっとした異変が起きている。米国は5月下旬のメモリアルデーの連休から、夏のドライブシーズンを迎えた。今年はガソリン需要が4月ごろから前年を上回っており、本来は石油会社が在庫を積み上げていく局面だ。だが、米エネルギー情報局（EIA）の週間統計では、ガソリン在庫は5月26日時点で2億1610万バレル。過去5年間のレンジの下限を下回る。

「高金利の経済環境が夏のガソリン需要に水を差すことを石油会社は懸念しているのではないか」。ストラテジック・エナジー・アンド・エコノミック・リサーチのマイケル・リンチ氏はこう語る。原油価格が高水準だった昨年と比べ石油会社の粗利益は縮小しており、過剰生産への警戒を強めている可能性もあるという。

米国では石油生産にも頭打ち感が出ている。ベーカー・ヒューズが集計する石油・天然ガスの掘削装置（リグ）の稼働数は2日時点で696基と、前の週に比べ15基減少した。石油リグは13カ月ぶりの低水準という。エバコアISIのエド・ハイマン氏は「商品価格の下落がインフレ率の低下と成長率の鈍化を示している」とその背景を説明する。

鋼材の原料となる鉄鉱石も4月ごろから徐々に値下がりしている。昨年秋ごろから需給調整が一巡して中国の経済活動の再開で上昇していたが、状況は一変した。ゴールドマン・サックスは今週、2023年の鉄鉱石需要の見通しを従来の2%増から横ばいに引き下げた。「中国の不動産市場の減速や世界的な製造業を取り巻く逆風のもとで、鋼材の需要環境には下押し圧力が増している」という。



電気代、3年で3割上昇

政府が6日に閣議決定した2022年度のエネルギー白書によると、日本の23年1月の電気料金は20年1月から3割上昇した。欧州連合（EU）は5割上昇、イタリアは3倍になった。ロシアのウクライナ侵攻が世界の電気代高騰に拍車をかけた。再生可能エネルギーの普及拡大や省エネを加速させる必要がある。

白書は日本、米国、英国、ドイツ、フランス、イタリア、EUの7カ国・地域の電気料金指数について20年1月を100として23年1月までの推移を示した。

最も伸びが大きかったのがイタリアで307だった。ピークは22年11月で358にまで達した。23年1月はイタリアに続き、英国が192、EUが154となった。

ウクライナ危機を受けてエネルギーの需給が逼迫した。ロシアへの経済制裁で、欧州ではパイプラインを通じたロシア産の天然ガスの供給が細り、代替する各国産の液化天然ガス（LNG）の価格が上昇した。

日本は128で、最も低かった米国の126と同水準だった。白書は日本が欧州より低水準だった要因について、価格を維持しやすい長期契約を中心にLNGを調達していたと説明。現行制度では燃料費の変動を自動で料金に反映しているものの、上限を超えた分を電力会社が負担する仕組みがあることも影響していると指摘した。

政府は23年1月使用分の電気料金から家庭向けで1キロワット時あたり7円値引く負担軽減策を実施している。一方、6月1日から大手電力7社は家庭向けの電気代を引き上げた。指数で見れば他国より低いものの、負担感は増している。白書はLNGの需給逼迫が25年ごろまで続くと分析した。「LNG争奪戦」は短期間で終わらない見通しだ。



航空、再生燃料で連携

世界の航空大手が持続可能な再生航空燃料（SAF）の取り組みで連携する。国際航空運送協会（IATA）は6日、2050年に二酸化炭素（CO₂）実質排出ゼロの目標を達成するには「（航空燃料に占める）SAFの利用が80～90%必要」との試算を公表。SAFの生産・調達について加盟する約290の航空大手で連携する基本方針を固めた。

IATAはCO₂実質排出ゼロ達成には約4.5億キロリットルのSAFが必要だと試算する。足元では北米や欧州、東南アジアを中心に、世界30カ国、130以上のSAF生産プロジェクトが動いている。

28年には南米やオーストラリア、日本などにも生産地が広がり、世界の生産量は23年見込みの4倍の6900万キロリットルとなる見込みだ。

化石燃料由来の航空燃料の2～4倍に高止まるSAF価格を下げるには国際連携が不可欠だ。SAFの原料となるバイオマスや廃食油などは特定の地域で生産・収集した方がコストを抑制できる。

IATA幹部は「世界の航空大手同士でSAF利用をクレジットとして融通し合える仕組みも今後検討する」と話す。



フェノール価格、6月分3%安 国内大口

合成樹脂などの原料となる基礎化学品フェノールの国内大口価格が下落した。三井化学などが決める6月分の国内価格は1キログラムあたり336.8円と、前月比10.5円（3%）安い。値下がりは6カ月ぶり。

原料となるベンゼンの国内想定価格は、アジア需要の弱さから大幅に下落。フェノール価格に波及した。



週間原油コストの推移

	期間	原油相場		為替(▲は円高)		円建て原油コスト	
		ドル/バレル	前週比	ドル/円	前週比	円/ℓ	前週比
火曜日～ 月曜日	4/25～5/1	79.51	▲ 3.20	135.57	0.18	67.79	▲ 2.64
	5/2～5/8	74.56	▲ 4.95	137.41	1.84	64.44	▲ 3.35
	5/9～5/15	75.13	0.57	136.07	▲ 1.34	64.30	▲ 0.14
	5/16～5/22	74.49	▲ 0.64	138.26	2.19	64.77	0.47
	5/23～5/29	75.87	1.38	140.46	2.20	67.02	2.25
	5/30～6/5	73.20	▲ 2.67	140.68	0.22	64.77	▲ 2.25
水曜日～ 火曜日	4/26～5/2	78.87	▲ 3.29	136.23	0.86	67.58	▲ 2.37
	5/3～5/9	73.71	▲ 5.16	136.24	0.01	63.16	▲ 4.42
	5/10～5/16	74.82	1.11	136.21	▲ 0.03	64.10	0.94
	5/17～5/23	74.54	▲ 0.28	138.74	2.53	65.04	0.94
	5/24～5/30	76.13	1.59	140.82	2.08	67.43	2.39
	5/31～6/6	73.01	▲ 3.12	140.55	▲ 0.27	64.54	▲ 2.89

※原油はドバイ、オマーン平均、為替レートは三菱UFJ銀行のTTSレート